

2020年(令和2年)5月27日(水) NO 146号

K-PURO NEWS

【事業所】

◆ 商号	株式会社 ケイプロ	https://k-puro.co.jp
◆ 屋号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆ 本社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆ 千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【業務内容】

 機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
 防犯カメラ事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
 メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

【加盟団体】

 RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://kawaguchi-morning.jp/
 起 NPO 法人	さいたま起業家協議会	https://saitama-kk.org/
 公益社団法人	千葉東法人会	http://www.chibahojin.jp/
 一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
 公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【応援団体企業】

 <p>三浦綾子記念文学館 MIURA AYAKO LITERATURE MUSEUM</p>	 <p>2 飢餓を ゼロに</p>	 <p>我が国一の歴史と実績 since 1957 公益財団法人 アイメイト協会</p>
 <p>TOHO AUTO INC. TOHO</p>	 <p>energy & environment 株式会社 エバテック</p>	

今月の言葉 「求めるよりみずからを省みる」



私たちは道徳とかモラルというと「あの人が悪い」「こうするべきだ」など、自分以外の誰かに対して求める気持ちが出やすいのではないのでしょうか。

ところがそれを他人に求めても、相手は自分の思いどおりにはならないものです。自分のことは棚上げにして、相手にばかり道徳の実行を求めるわけにはいきません。まず何より、ふだんの自分の心づかいと行いを見つめ直すことが大切です。他人の欠点・短所はよく分かりますが、自分のそれにはなかなか気づきません。自分自身を素直に省みる習慣をつけたいものです。

今月の良い話

礼儀正しい男が強かった

C・W・ニコルさんが亡くなった。ニコルさんはウェールズ出身の日本人である。ドナルド・キーンさんと同じく、異国に生まれ、日本を愛し、この国に帰化して日本で死んだ。ニコルさんは冒険家であり、自然環境保護運動家であり、そして作家でもあった。若い頃、プロレスの前座をつとめたことがある、というのはニコル伝説の一つだが、堂々たる体格と、草花のような繊細な感覚の持ち主だった。



何十年前前、F・フォーサイズが来日した折りに、帝国ホテルで私がインタビューをしたことがある。そのとき、少年のように興奮して、「通訳はぼくにまかせてくれ」と言ってきたのがニコルさんだった。当日、フォーサイズと会った瞬間、ニコルさんはすごくあがってしまって、滑らかに口が動かない。これはまずかったな、と思ったが後の祭りだった。

堂々たる体格のニコルさんが、しどろもどろになっている姿がおかしかった。

そんなニコルさんが極地探険の体験を語ってくれたなかで、興味ぶかったのが「どんなタイプの人か極限状態のなかで強いのか」という話だった。

体力でもない。勇気でもない。

寒気と嵐の中で何日も耐えぬくことのできる人間は、礼儀正しいタイプのメンバーだったというのだ。

テントの中に閉じ込められて何日も何日も待つ。

いつ嵐が過ぎ去るか知るすべもない。誰もが苛立ち、ときには口論したりする。

そんななかで、最後まで耐え抜くことのできる男は、意外なことに「礼儀正しい男」だったというのだ。

朝、きちんとひげを剃る。髪をなでつけ、歯を磨く。

顔を合わせると笑顔で、「おはよう」と挨拶する。

横をすり抜けるときには、「エクスキューズミー」と言う。

そして時々、冗談を言って仲間を笑わせる。

できるだけ身綺麗にして、荷物の整理も忘れない。

「そんなタイプの男が、いざという時に強かったんです」と、ニコルさんは言っていた。

「ガタイが大きくて、荒っぽい男は、意外に頑張れなかったんだ」

一度、山の中のニコルさんの家を訪ねて、食事をごちそうになったことがあった。

熊の肉を煮てもてなしてくれた。

私が食べ残したのを見て、ニコルさんは言った。

「ダメ。ちゃんと全部食べてください。熊さんに失礼じゃないですか」

熊のような体格のニコルさんが、めずらしく怒った顔をしたことを憶えている。

「良き者は逝く」という古い言葉を、私はしばしば思い出す。

長く生き残るのは、すれっからしばかりだ。

ニコルさんのはにかんだような笑顔を忘れることができない。合掌。

五木 寛之（作家）

記事提供 致知出版社

今月の良い話

独創力を発揮するための3条件



糸川先生はよく「独創力」の大切さについて話されていましたが、一般向けに行われた講演会でこんなことがありました。先生は、幼い男の子を抱いて前の席で座っているお母さんに「その子を独創力のある子に育てたいと思いますか？」と聞かれました。「もちろん」と答えたお母さんに、「そのためにあなたはどのように育てるつもりですか？」と聞くと、そのお母さんは「独創力を発揮するには自由でなければいけないから、この子がやりたいと思ったことは何でもやらせます」と答えました。先生は天井を見てしばらく考えていましたが「あなたは数年すると、絶望するでしょうな」と言われたんです。

「何でも好きにやって独創力がつくのならチンパンジーには皆、独創力がある」と。

先生が続けて言われるには「人間には意志というものがあって、自分はこれをやりたい、という思いにどこまでも固執しなければいけない」と。いったんやりたいと思ったことは、絶対にやり遂げるという気持ちがなければ、やっぱり何もできません。一度決心したことは、石にしがみついてもやり遂げる強い意志が必要だと第一に言われました。

第二には、過去にどんな人がいて、何をやったかを徹底的に学習しないとダメだ、と。アインシュタインは、ニュートンのことを徹底的に学習して、ニュートンが考えることはすべて分かるという状態にまでなった。

そうやって初めて、ニュートンの分からないことが分かるようになったんです。

だから過去の人がやったことを決して馬鹿にしてはいけない。

これまで先人が残した考えの上に乗っかって、初めて新しいことが生まれる。

だから、徹底的に勉強しなきゃいけないと言われました。

第三は、少し意外だったんですが、自分が何か独創力のある凄い仕事をしたと思っていても、世の中が認めなければそのまま埋もれてしまうことになる。

世に認められるためには、他の人とのネットワークをしっかりと築いてよい関係をつくっておくことが大事ですと。先生はその後、「私は独創力と縁のないことを言ってるように聞こえるかもしれないけれど、世の中の独創力はそうやってできてるんですよ」と話された。

先生はまさしくそれを貫かれたと思うんですね。

同時代の人がやっていることを真似るようなことは決してしないけれども、過去のことは非常によく勉強されていますよ。糸川先生は、誰も考えなかったことを考えるのが大好きなんですよね。でもその基盤には、自分が正当に継がなきゃいけないものを、物凄くしっかり勉強しているということがあるわけです。その上に立って、初めて独創力が生まれてくるんだなということは、先生を見ていてよく感じました。

////////////////////////////////////

的川 秦宣 (JAXA 名誉教授・技術顧問)

記事提供 致知出版社

事件ファイル NO146 コロナ禍での侵入窃盗



コロナ禍の中、侵入窃盗が増加したというニュースを数多く耳にしました。

左は前年同月比で出店荒らしと事務所荒らしを比較した表です。

4月はほとんどのお店が営業を自粛していたため出店荒らしの認知件数は12.9%と大きく減少しているのに対し、無人となる事務所荒らしの認知件数は8.2%増加しました。

これは出店荒らしの泥棒が事務所へターゲットをシフトしたわかりやすいデータです。

紙面の都合上データは掲載しませんが、病院荒らしも前年同月比で3月71.4%増、4月32.1%増と著しく増加しており、これは金品よりもマスク等の医療用品を狙った犯行だと考えられます。

これから失業者が増えるにあたり、にわか泥棒が増えると思われるので十二分にご注意下さい。

出典元：警察庁 令和2年犯罪統計資料

プロ太の小話集 NO146 『 助けを呼びに 』

大陸横断飛行の途中、一人の乗客が窓の外を見ると、ジェットエンジンの二つが火を噴いている。

男はすぐさまエンジンが燃えていると叫び始め、乗客たちは大混乱に陥った。

そこへ、パイロットがパラシュートを背中につけて客室の入り口に現れた。

「どうか、落ち着いてください」パイロットが明るく言った。

「ぼくが助けを呼びに行ってきます！」



今月のK-PURO ニュースいかがでしたか？

日本が新型コロナの抑え込みに成功した要因が色々と分析されています。手を洗う文化、マスクを付ける文化、家の中では靴を脱ぐ文化等々・・・。

私個人はこう思います。

コロナが蔓延している日々に例年になく強い風の日が続きました。

この強風こそが、いわゆる日本の神風であり、この目に見えない大きな力がコロナウイルスを一つ所に留まらせず吹き飛ばす効力だったのではないかと・・・。

日本と言う国はいつの時代も目に見えない大きな力に守られていると感じざるを得ません。

注：プロ太とは、写真のK-PURO番犬です (体長10メートル・体重1トン・無敵無敗)